

笠原建設の手作り企業ニュースレター



社有地を桜と笑顔でいっぱい！(R5.4.6 植樹事業にて)

皆様こんにちは。

新年度を迎え、如何お過ごしでしょうか。

桜の花も例年に比べ早い開花となり、通称：かさはら桜坂も年々地域の人々の目を楽しませてくれる存在となってきたと感じております。笠原建設が取り組む「地域事業」の一環としてその活動が地域に喜ばれ、定着してきました。

今年は新たに4名の仲間を迎えることができました。恒例の桜の植樹も実施され、来年以降の開花が楽しみです。

新型コロナも5月8日から「5類」移行され、私たちの生活も変化が見られますが、まだまだ予断を許さない状況です。

皆様方におかれましては、感染対策は勿論ですが、日々健康に留意されご活躍されることをお祈りしご挨拶とさせていただきます。

今年度も何事にも熱意を持って取り組んで参ります。引き続きのご指導をお願い申し上げます。

滝川 純一



◆新しい仲間

新しい仲間を迎えました。
皆様、どうぞよろしくお願ひします。



【2月入社 1名】

【4月入社 4名】

Nさん（機材部）



Iさん（機工部）



株式会社 Tさん（上越営業所）



Kさん（建築部）

Kさん（土木部）



◆えるぼし認定を受けました

厚生労働省による女性活躍推進法に基づく認定で、評価項目全てを満たしたことにより最高ランクである「三ツ星」認定を受けました。上越地域では当社が初となります。

認定を受け、専務の笠原が米田市長へ報告に伺いました。3月10日号の「広報いといがわ」では大きく取りあげていただき、家庭と仕事を両立している社員や産後復帰しても技術者を続けている社員の声を掲載いただきました。



男女ともに活躍できる
活気ある職場をこれからも
目指し続けていきます。



4月1日現在、当社の女性社員は33名。
全体の約18%を占めます。

◆我が社の植樹事業

4月6日、花曇りのなか、新入社員たちをはじめ、社員による桜の記念植樹を行いました。場所は、海洋高校に向かう途中の「かさはら桜坂」です。

まず初めに、昨年鈴木社長が黄綬褒章を受章した記念に、社員からの記念の品である桜と梅の木の植樹をみんなで行いました。



そのあと、社有地の山頂へ。本社と日本海を見下ろす頂は、今後の構想でいずれ桜で満開にしたいところです。

数年前から、新入社員を中心に毎年ここに桜を植樹しています。新入社員はじめ部署ごとにも苗を植えました。普段なかなか一緒に汗をかくことのない営業所の仲間も集まって植樹しました。

この植樹事業は未来への地域事業です。社員の成長と共に、桜も大きくすくすく育ちますように！

◆今年のかさはら桜坂

見晴らしの良いポイントに石のテーブルや椅子、駐車スペースには車止めも設置しました。そして、夜にはライトアップも！多くの方に訪れていただきました。



◆筒石の海岸に・・・

テレビでも報道があったとおり、去る2月7日、筒石漁港海岸に大量のイワシが打ち揚がり、波打ち際を一面銀色に染めました。海岸を管理する県からの要請で、当社も撤去作業を行いました。



焼却処理する際に、イワシに砂が多く付着していると焼却できないため、重機ではなく手作業で回収しては洗ってトンパックへ…という途方もない作業を連日続けます。

あまりにも大量で、腐敗や砂の付着で飼料会社の引取りや焼却処分ができなくなったものは、重機を投入しての回収・埋立て作業になりました。

使用した大型土のう袋は497袋。記憶に残る出来事となりました。



編集後記

春もたけなわ、間もなく田植え時期となり良い季節です。先日、当社本社屋のある能生では4年振りに春季大祭が開催されました。神様が乗ると神輿が走り出す「お走り」は、4年間祭りの開催を我慢し続けた気持ちを表すかのように、中々走り出さず、担ぎ手も観衆も大変じらされたそうです。お祭りが開催できる日常が、少しずつ戻ってきて嬉しいです。

株式会社 笠原建設 (発行：営業部)

本社 〒949-1352 新潟県糸魚川市大字能生 1155 番地 6
Tel 025-566-3181 Fax 025-566-4852

ホームページ <https://www.kasacon.co.jp> ブログも随時更新しています！

